

Jichiroたきかわ

号外
全道女子
バレーin
滝川

熱戦スタート！ ベスト8出揃う

第39回全道自治体職員等女子バレーボール選手権全道優勝大会が、滝川市・スポーツセンターで始まった。大会には二チームが出場し、来年岡山県で行われる、全国大会の切符をめざし、白熱した試合が行われた。



予選試合は高レベルの試合が続出。旭川市職労・深川市職労・別海町職・帯広市職連・名寄市職労・苫小牧市職労・北見市職連・地元滝川市職労が決勝トーナメント進出を決めた。本号では、本で行われた試合全試合の詳細をお知らせいたします。

予選全試合速報

◆旭川市職労ー滝川市職労 (121対7) (21対13)

序盤両チームともゆずらず、緊迫した試合展開だったが、旭川のスパイクが次第に決まりだすと、旭川の山田選手のサーブで点差を突き放し



た。滝川は中川選手の正確なスパイクで流れを止めるが、旭川の攻撃の前に1セットを奪われた。

第二セットも旭川の強烈なスパイクで点差が開きだし、滝川も必死のレシーブで拾うも、スパイクまで持つて行けず苦しい展開となる。中盤に点差を縮めるも、旭川の安定したプレーで連取し旭川が勝利した。

◆石狩市職労ー深川市職労 (18対21) (6対21)

第一セット、深川・野村選手のサーブミスでエースを皮切りに8連続ポイントで一気

に点差を広げる。中盤は石狩の吉岡選手のスパイクが決まりだし、何とかくらいついてもミスによる連続失点。深川は最後まで流れを渡すこと



なく先取した。第二セットは序盤、一進一退の攻防が続く。中盤は深川・須網選手のスパイクで得点を重ねる。

石狩は終盤、レシーブミスが続きさらに点差が開く。最後は深川・野村選手の連続サーブミスで試合を決めた。

◆上川町職労ー別海町職 (17対21) (27対21)

第一セット序盤、両者譲らない一進一退のシーソーゲーム

手・津田選手などの攻撃が冴えわたる。一方の上川は最後まで自分たちのペースをつかめず敗戦となった。

◆札幌市職労ー帯広市職連 (18対21) (21対21)

第一セット、帯広・大久津選手の正確なトスからの攻撃とねばりのレシーブで、全員攻撃につながるプレーで、一進一退の展開。一時、札幌市

となり、9対7で別海がリードでタイムアウト。終盤、別海の小野選手、津田選手のスパイクが決まりだし、上川を振り切り先取した。第二セット、別海は第一セットの勢いのまま試合運び、小野選手・津田選手などの



着いた試合運びで帯広が先取した。第二セット、札幌・森選手のサーブミスで2連続ポイントを取った。一時、4点差までリードした札幌だったが、次第に帯広の多様な攻撃が決まりだし、圧倒的に試合展開で帯広が勝利した。

◆名寄市職労ー石狩市職労

(1)21対0(2)21対6

第一セットは、序盤名寄・田中選手のサー

ブから9連続ポイントをあげた。その後も角田選手のスパイクが冴えわたり、一気に点差を広げた。石狩も阿部選手のサーブから応戦するも、流れを変えられず、名寄が先取した。

◆苫小牧市職労ー

名寄は第一セットの流れのままに、第二セットも序盤から4連続ポイントをあげた。その後、一進一退の攻防が続いたが、名寄・角田選手のスパイクを止められず点差が開き試合を決めた。

北見市労連ー苫小牧市職労

(1)21対13(2)21対19)

全道大会常連同士のたかいたとなった一戦は、第一セット序盤、苫小牧は北見のサーブレシーブの乱れもありリードを拡げる。北見は懸命に佐賀選手のスパイクにより粘りを見せるも、苫小牧岩田、青野の左右からのスパイクが決まり流れを渡さず佐藤選手のスパイクでセットポイントをつかみ、最後は北見のミスで第一セットを奪った。第二セットは序盤、苫小牧・佐藤選手のサーブで北見を崩し、第一セット同様の試合展開に。北見もブロックなどで一時逆転するも、最後は苫小牧・岩田選手のスパイクで試合を決めた。

◆札幌市労ー滝川市職労

(1)14対21(2)17対21)

第一セット、互に拾ってつなぐラリー

を展開。滝川・中川選手の連続サーブミス、街道のスパイクが要所所で決まり札幌のサーブミスなどもあり、そのまま滝川が先取した。第二セット、後がない札幌は粘りのレシーブから、伊藤選手の手スパイクで反撃。しかし、滝川は大事な場面でつなぐラリーを展開。勢いそのまま地元滝川が勝利した。

◆上川町職労ー北見市労連

(1)4対21(2)8対21)

第一セット序盤、北見・弥富選手の力強いサーブでの連続得点をあげ、試合の流れをつかむ。攻撃でも小野選手、佐賀選手、奈良選手の活躍でリードを拡げる。終盤も勢いは止まらず、そのまま第一セットをうばった。

第二セットに入るも、序盤は北見の流れに。上川も攻守にわたり粘るも、勢いそのまま北見が勝利した。